

平成 29 年度

第 2 回奈良市教育委員会指定管理者選定委員会

平成 29 年 10 月 5 日会議

平成29年度第2回奈良市教育委員会指定管理者選定委員会会議録			
開催日時	平成29年10月5日(木) 午前9時30分から午後1時30分まで		
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第23会議室		
出席者	委員	奥田委員、浦西委員、権藤委員、尾崎委員、北谷委員	
	事務局	(生涯学習課) 中課長、片岡課長補佐、米田係長、山副係長 (文化財課) 岩坂主幹、東口係長	
開催形態	公開(傍聴人0人)	担当課	教育総務部生涯学習課
議題 又は 案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 奈良市黒髪山キャンプフィールドの指定候補者の書類審査 2 奈良市黒髪山キャンプフィールドの指定候補者の書類審査結果の報告 3 上深川歴史民俗資料館の指定候補者の書類審査 4 上深川歴史民俗資料館の指定候補者の選定 5 奈良市公民館(24施設)の指定候補者の書類審査 6 奈良市公民館(24施設)の指定候補者の選定 7 奈良市公民館分館(27施設)の指定候補者の書類審査 8 奈良市公民館分館(27施設)の指定候補者の選定 		
決定又は 取り纏め 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・会議録を要点筆記方式で作成することとし、第2回の署名委員2人は委員長と尾崎委員と決定する。 ・奈良市黒髪山キャンプフィールドにおいて、申請団体(2団体)が指定管理者としてふさわしくないという項目には該当しないことを確認し、面接対象となる団体であることを決定した。 ・上深川歴史民俗資料館、奈良市公民館(24施設)及び奈良市公民館分館(27施設)において、全ての申請団体を各施設の指定管理者の候補者として選定することが適当であることを決定した。 		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<ol style="list-style-type: none"> 1 奈良市黒髪山キャンプフィールドの指定候補者の書類審査 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良市黒髪山キャンプフィールドの申請団体(2団体)から提出された申請書類をもとに、審査項目表を用いて評価、採点した。 <p>【質問・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請団体2団体のうち、1団体は現在の指定管理者であるが、今回新たに申請している団体はどのような団体か、事務局が把握している範囲で教えてほしい。 <p>→新規で申請があった団体は、生涯学習課所管の「青少年野外活動センター」の指定管理者となっている団体の元職員が新たに立ち上げた団体である。そのため、当該団体としては指定管理の実績はないものの、指定管理者の役割などはある程度理解していると考え。</p> 			

また、8月30日の現地説明会にも参加され、今年度も黒髪山キャンプフィールドにおいて青少年向けの事業を実施している。

2 奈良市黒髪山キャンプフィールドの指定候補者の書類審査結果の報告

- ・各委員の採点に基づきまとめた採点集計表をもとに、書類審査結果を報告した。
- ・書類審査の結果、申請団体（2団体）が指定管理者としてふさわしくないという項目には該当しないことを確認し、次の面接審査の対象とすること及び書類審査の順位を決定した。

3 上深川歴史民俗資料館の指定候補者の書類審査

- ・上深川歴史民俗資料館の申請団体から提出された申請書類をもとに、審査項目表を用いて評価、採点した。

【質問・意見等】

- ・上深川歴史民俗資料館はユネスコ無形文化遺産であるが、奈良市のように文化財が豊富な市町村においては、対外的に文化観光施設として周知している。このように施設を取り上げて全国的に発信することについて、施設側がすべきか、所管している文化財課がすべきかなど、施設の発信に対する考えを教えてください。

→伝承施設を管理している団体が施設のPRに努めてもらうことは有意義だと思う。一方、市内の文化財の周知、普及、活用は所管している文化財課で積極的に行うべきだと思う。上深川歴史民俗資料館については、題目立に関するパンフレットを作成するとともに、ホームページにも掲載している。また、文化財課で定期的ではないがバスツアーも計画しており、今後も力を入れて行っていきたい。

- ・見学に行きたい場合は、文化財課を通して行かなければならないか。

→文化財課あるいは自治会に連絡していただくと見学が可能である。常時開館していないが、定期で行っている題目立の上演日や毎月の管理会議の際は開館している。

- ・市内に多くの文化財があるので、上深川歴史民俗資料館はおろそかになっているのか。

→そういうわけではない。民俗文化財の場合は、地域住民の方が主体で伝承されており、地域の環境に左右されると思う。特に上深川歴史民俗資料館は車でないと行きにくい場所にある。

- ・文化財を周知するための公の施設が閉まっているのはいいのか。練習の場所だけであるなら、公の施設から外すことはできないのか。

→練習場所ということが大きな特色であるが、文化財に関する資料を収蔵しており、公の施設という位置づけになっている。今現在は公の施設として市が責任を持っている。

4 上深川歴史民俗資料館の指定候補者の選定

- ・各委員の採点に基づきまとめた採点集計表をもとに、書類審査結果を報告した。
- ・書類審査の結果、申請団体を当該施設の指定管理者の候補者として選定することが適切であることを決定した。

5 奈良市公民館(24施設)の指定候補者の書類審査

- ・奈良市公民館(24施設)の申請団体から提出された申請書類をもとに、審査項目表を用いて評価、採点した。

【質問・意見等】

- ・本日の資料(管理運営状況に関する資料)をみると、指定管理料の提案額が今年度予算より約3,650万円の増額になっているが、考えられる要因はあるか。
→指定管理料の増額についての要因としては、平成30年4月1日から、登美ヶ丘公民館に隣接するグリーンホールが廃止となり、このホールを登美ヶ丘公民館の施設とすることを踏まえ、それに伴う管理経費や人件費等を見込んだものとする。
- ・指定管理料の提案額は、市が必ず契約しなければならない額なのか、それともこれから査定される中で額の変更があるのか。
→提案額は指定管理者の選定に伴う資料であり、予算要求については別途申請があり、各所管課で審査が入ると考えている。

6 奈良市公民館(24施設)の指定候補者の選定

- ・各委員の採点に基づきまとめた採点集計表をもとに、書類審査結果を報告した。
- ・書類審査の結果、申請団体を当該施設の指定管理者の候補者として選定することが適当であることを決定した。

7 奈良市公民館分館(27施設)の指定候補者の書類審査

- ・奈良市公民館(27施設)の申請団体から提出された申請書類をもとに、審査項目表を用いて評価、採点した。

【質問・意見等】

- ・公民館24施設と公民館分館27施設との位置づけはどうなっているか。
→地区公民館については、概ね中学校区に1館として位置づけられている。分館27施設については、当初小学校区に1館設置として予定していたが、現状では全ての小学校区に1館設置されていない。地域の中には分館の他にふれあい会館などが存在している状況である。公民館も分館も同じ公民館条例で設置されており、条例に沿って運営管理されている。
- ・分館は地元の自治会等で管理されているが、青少年の健全育成を目的に掲げているところは少なく、高齢者対象の事業が多いが、そのような指導をしているのか。
→公民館の補完的な意味で分館は設けられており、本来は青少年から高齢者まで全ての人に使用してもらえるように設置されたと思うが、実際地域の自治会等に管理をお願いしており、地区公民館のように主催事業を計画して来てもらう形ではなく、地域住民の方が自主活動として利用する事業展開になっているので、対象が高齢者の事業が多くなるのが現状だと思う。
- ・分館27施設は旧奈良市内だけで、都祁地域にはないのか。
→月ヶ瀬、都祁地域には分館はない。
- ・丹生分館の予算書に、利用各種団体活動助成金3万円が計上されているが、これはどのような

費用か。

→団体の自主活動として、納涼盆踊り大会等の地域と連携した事業を行っており、その事業費(活動費)として3万円を計上している。事業費であり、助成金という書き方は適切ではないと思われる。

8 奈良市公民館分館(27施設)の指定候補者の選定

- ・各委員の採点に基づきまとめた採点集計表をもとに、書類審査結果を報告した。
- ・書類審査の結果、全ての申請団体を当該各施設の指定管理者の候補者として選定することが適当であることを決定した。

資 料

- ・奈良市黒髪山キャンプフィールド他29施設における指定管理者指定申請書ほか申請関係書類
- ・奈良市黒髪山キャンプフィールド他29施設における審査項目表
- ・奈良市黒髪山キャンプフィールド他29施設における採点集計表
- ・上深川歴史民俗資料館、奈良市公民館(24施設)及び奈良市公民館分館(27施設)の管理運営状況に関する資料
- ・奈良市黒髪山キャンプフィールドに係る奈良市教育委員会指定管理者選定委員会審査要領
- ・公民館分館27館他2施設に係る奈良市教育委員会指定管理者選定委員会審査要領